



🐇 商店街ねずみ対策 🐇



飲食店の多い商店街などで、ねずみ被害が深刻化しています。
地域全体で一丸となって対策に取り組み、まちの環境を守りましょう！

対策1

ねずみにエサを与えない！

ねずみは人間が出す生ごみをエサにしています。屋外ねずみ対策において、ごみの管理は最も重要です。エサがなくなれば、ねずみの増殖を防ぎ、街に棲みつくねずみを減らすことができます。

Point1 ふた付きのごみ箱を使用する

生ごみをビニール袋に入れて屋外に出していると、ねずみはビニールをかじり中の生ごみを食べてしまいます。生ごみはふた付きごみ箱などのしっかり密閉できる容器に入れて出しましょう。長期間使っているごみ箱は劣化して穴が開いてしまうこともあるため、定期的に点検しましょう。ふたがきちんと閉まるように、ごみの量に見合った大きさのごみ箱を使いましょう。ごみ箱に入りきらないごみ袋を、ごみ箱の脇や上に置かないようにしてください。

Point2 屋外にごみ袋をむき出しのまま長時間放置しない

屋外にごみ袋をむき出しのまま長時間放置すると、ねずみに食べられてしまう危険性が高まります。ごみ収集日より前にごみを出すことは避けて、収集日の回収時間に合わせてごみ出しをしましょう。やむを得ず収集日より前にごみを出す場合は、夜行性のねずみに食べられないように、ふた付きごみ箱などの密閉できる容器に入れるなど、ねずみに食べられないようにきちんと管理をしましょう。

対策2

ねずみに住み処を与えない！

ねずみの数を減らすためには、生息場所や隠れ場所を与えないことも有効な対策です。ねずみにとって居心地の良い環境をなくし定着しないように、地域で協力して取り組みましょう。

Point1 ねずみの住みやすい環境をなくす

ねずみは、ごみ置き場や自動販売機の裏側、ビルとビルの間などの、暗くて狭く人目につかない場所を好みます。建物の周辺にあるごみ・荷物などの不要なものは廃棄するなど整理整頓を行い、物陰をつくらないようにしましょう。また、清掃もきちんと行いましょう。

Point2 巣(巣穴)をつくらせない

ねずみは、エサ場の近くの植え込み等に巣穴を作ったり、Point1で挙げたような人目につかない場所に巣を作ります。ビニール袋、段ボール、紙くず、布切れ、発泡スチロール等はかじって巣の材料にしてしまうため、これらのものを屋外に放置しないようにしましょう。コンクリートの割れ目も住み処となってしまうため、工事等を行いすき間をなくしましょう。

対策3

ねずみを建物内に侵入させない！

ねずみは、2cmほどの穴やすき間から侵入することが出来ます（目安は1円玉の大きさ）。建物内をねずみの生息場所や活動拠点にされないように、侵入対策を実施しましょう。

Point 侵入口を塞ぐ

侵入箇所はシャッター周りのすき間、配管・配線類の壁貫通部分周りのすき間、ダンパーがしまらなくなった換気扇、通気口・排水口、劣化した壁等の亀裂部分など沢山あります。ねずみが入る可能性がある侵入口は、市販の金属たわし、金網、パテ、モルタル等で塞ぎましょう。自身での侵入対策が難しい場合には、専門業者に依頼しましょう。